

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 3/4 教科・領域 国語 単元・題材等 ちいちゃんのかげおくり／一つの花 (戦争題材)

単元・題材等の目標 登場人物の様子や場面の様子や移り変わりを、作品の大事な言葉や叙述をもとに想像しながら読む。作者の思いや読み取った内容について、自分の考えをまとめ、友達の考え方や感じ方と比べる。

○活用できる学校外の人材と内容等

祖父母や地域のお年寄り

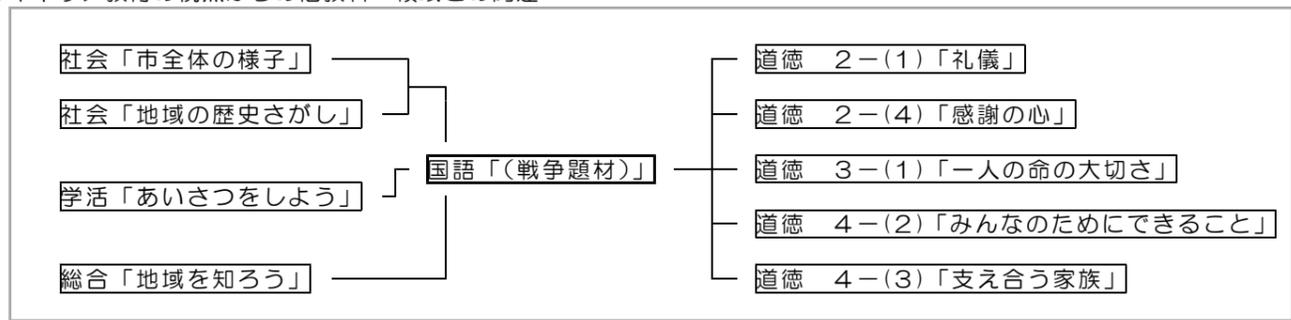
*来校してもらい、戦時中の生活や戦争の様子について話をしてもらう。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・戦争中の話を聞いて、考えたことや感じたことを分かりやすく表現する。【コミュニケーション能力】
- ・戦争を体験した人の気持ちや考えを理解しようとする。【コミュニケーション能力】
- ・戦争中の人々の生き方や仕事の様子が分かる。【情報収集・探索能力】
- ・分からないことを本で調べたり、質問したりする。【情報収集・探索能力】
- ・戦争中の話と、将来の生き方との関係に気付く。【役割把握・認識能力】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント

本単元・題材等に入る前に



*事前に、学年便りや回覧板等で家庭や地域に知らせ、戦争中の話をするために来校してくれる人を募っておきましょう。

活用前の指導では



*戦争を体験した人が来校し、戦争中の話をしてくれることを伝え、話を聞いたり質問したりするマナー等について指導しておきましょう。

活用時の指導では



*戦争を体験した人の話を聞いて、感じたことや思ったことを素直に発表できるように働きかけましょう。
*戦争を体験した人の話と教材文の描写とを関連させながら話を聞くようにさせましょう。

活用後の指導では



*戦争を体験した人の話と教材文の読み取りをもとに、主題について考え、話し合わせるようにしましょう。

○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

①学習のめあてを決め、見通しをもとう

◆感想を出して交流し合い、学習のめあてを決めて見通しをもつ。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●扉の詩を心に留めながら全文を通読する。 ●感想を発表し合い、学習課題を決める。 ●次時からの学習予定を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○扉の詩と本文との関連を考えながら通読するようにさせる。 ○初発の感想を発表し合うことを通して、本単元の学習のめあてを決め、読み取りの見通しがもてるようにさせる。 ○戦争を体験した人が来校し、話を聞くということを知らせる。 ○話を聞いたり質問をしたりするマナー等について指導しておく。

評価の観点 ・教材文を通読し、感想を発表することができる。
・学習課題を決め、次時からの学習予定が分かる。

活用時の指導

②登場人物や場面の様子、場面の移り変わりに気を付けながら読もう

◆大事な言葉に気を付けて、詳しく読み取る。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●場面の様子や移り変わり、登場人物の気持ちや情景を想像し、時代の状況や場面と場面のつながりを考えながら詳しく読む。 ●当時の状況や戦争の様子などについて知る。 【コミュニケーション能力】 【情報収集・探索能力】 【役割把握・認識能力】 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉が表している様子や文章に書いてあること、書いていない会話や行動、気持ちを想像したり考えたりしながら読み取っていくようにさせる。 ○来校された人を紹介し、戦争中の生活や世の中の様子、子どもたちの様子などについて話を聞く。 ○戦争を体験した人の話と、教材文の描写を結び付けながら話を聞くようにさせる。 ○詳しく知りたいことについては、話者の気持ちを考えながら、質問をさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ●話を聞いた感想を発表し、お礼を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当時の生活の大変さとともに、現在の私たちの生活は当時の人たちの努力と苦難があつてのものであることに気付かせる。 ○簡単な感想を発表させ、お礼のあいさつをさせる。
<p>子どもも家の手伝いをしたり働いたりしていたんだ。</p> <p>当時の人たちは、生きていくこと自体が大変なことだったということを感じました。</p> <p>当時の人たちの苦勞と努力で日本が立ち直っていったのだと思います。</p> <p>今日は、貴重なお話をしてくださりありがとうございました。</p>	<p>食べ物や住む所で大変苦勞したんだな。</p> <p>お話を聞いて詳しく聞きたいことはありますか？</p>

評価の観点 ・戦争体験者の話を聞き、戦争中の様子、人々の苦勞や気持ちが分かる。
・戦争中の話の内容と教材文を結び付け、読み取りに生かすことができる。

活用後の指導

③読み取ったことをもとに、思ったことや考えたことを話し合おう

◆題名や作品に込められた作者の願いなどについて思ったことや考えたことを話し合う。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●読み取ったことや戦争を体験した人の話などをもとに、題名や作品に込められた作者の願い、戦争を体験してきた人の思いや願いについて考える。 【役割把握・認識能力】 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文の描写と戦争体験者の話を結び付け、作者の願いや戦争体験者の思いや願いについて考えさせる。 ○考えを発表し合い、話し合うことを通して、教材文の主題に迫らせる。

評価の観点 ・教材文の読み取りと戦争体験者の話をもとに話し合い、主題に迫ることができる。